

食育だより



平成28年 臨時号
苫小牧市こども育成課
幼児保育係栄養士発行

今年度も残りわずかとなりました。さまざまな場面でお子さんが成長を感じることもあるかと思います。4月からは進級や進学で、新しい生活が始まりますね。

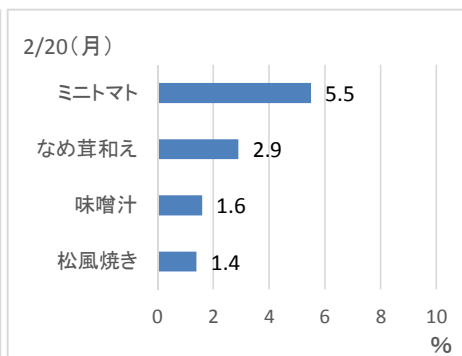
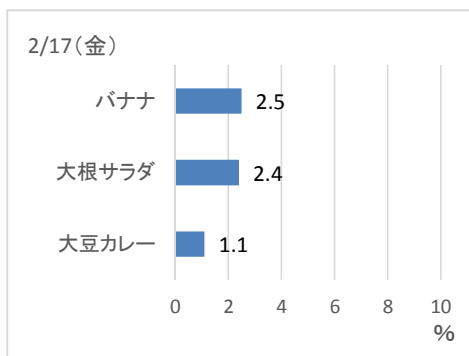
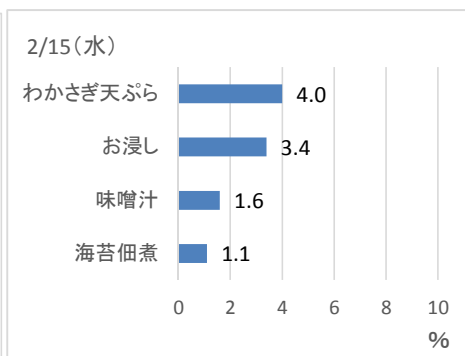
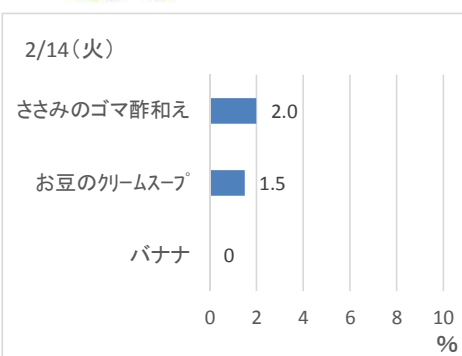
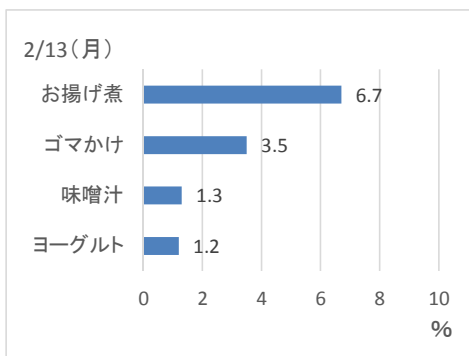
来年度も菜園活動やクッキング保育といった食に関する活動を実施していく予定ですのでご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。



残食調査

2月13～20日（2/16誕生会を除く）の期間で、3歳以上児の昼食を対象に今年度2回目の残食調査を実施しました。主食以外の献立について、子どもたちがそれぞれのくらい食べているかを調べるため、献立ごとの残量を計測しました。公立保育園5園の平均の結果は次のとおりです。

残食調査結果



※15日のわかさぎの天ぷらは、仕入れの関係でひまわり・やまては鮭のゴマ揚げに献立変更

全体的に残食が少ないですね！



一残食調査の結果より一

- ・今回の調査期間ではカレーやクリームスープといった、子どもたちに人気のある献立が含まれていたこともあり、すべてのメニューで残食率は10%以下でした。
- ・豆類や魚を使った献立も、残食が少ないことがわかります。
- ・比較的残食が多かったのは豆腐とひじきのお揚げ煮でした。家庭では食べられない献立であったことと、特に3歳児ではかみ切りにくかった子がいたことが要因だと考えます。
- ・前回の8月調査時と比べて、子どもたちが成長し、よく食べるようになったことがわかります。
- ・今後も引き続き、必要な栄養価を満たしながら子どもたちがおいしく食べられる給食の提供を心がけていきます。